

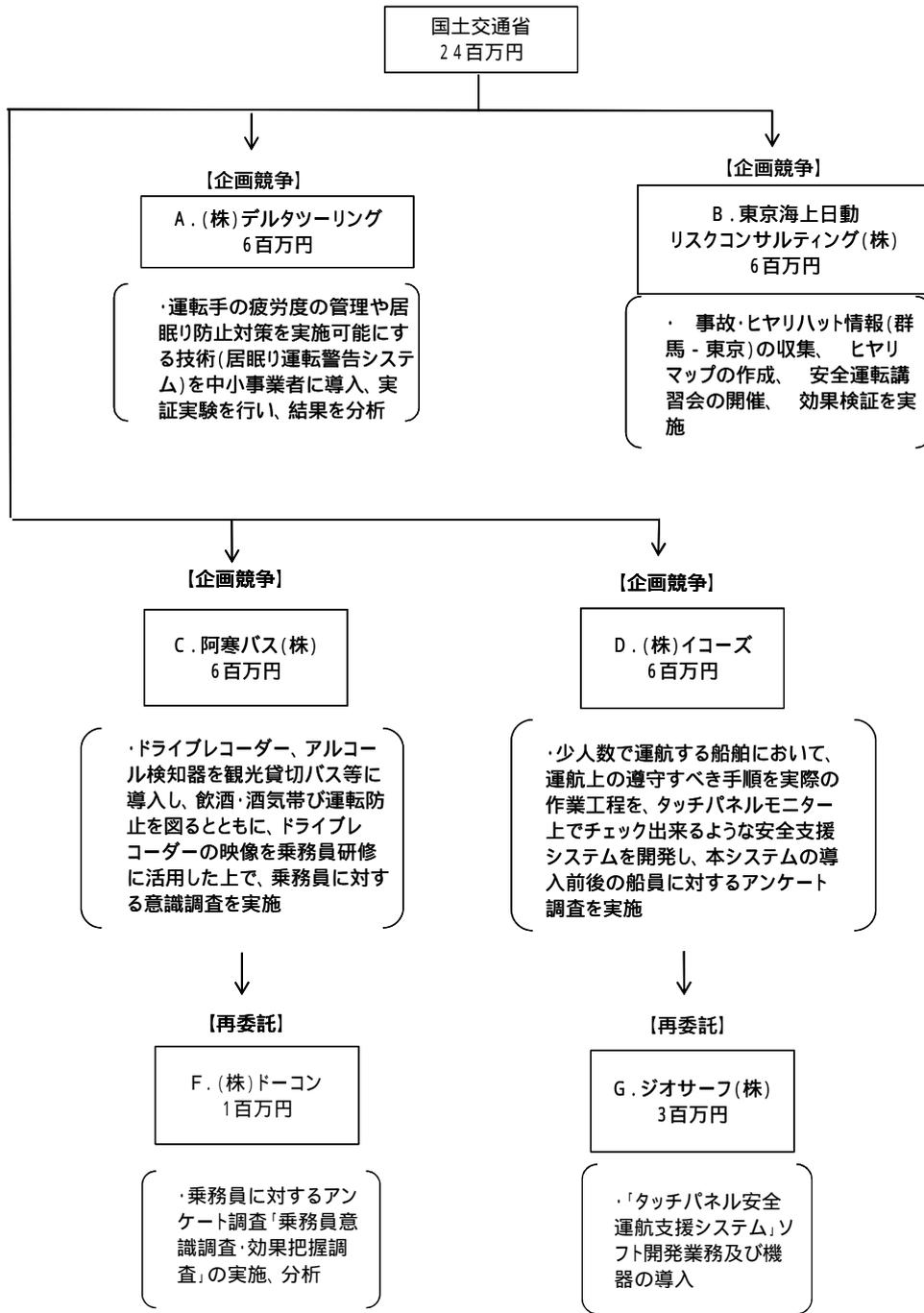
平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	運輸の安全性向上のための官民における戦略的取組の推進		<b>担当部局</b>	大臣官房		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度		<b>担当課室</b>	運輸安全監理官		運輸安全監理官 渡邊 良	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、バスジャック・航空機のテロ防止を推進する			
<b>根拠法令(具体的な)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程程度以内)</b>	運輸安全の向上を目的として、主として中小運輸事業者における運輸の安全性向上を図るために行う新規性のある事業であるとともに、その事業の実施効果を可能な限り定量的に把握・分析することが事業内容の一部となっている取組について、国が支援することにより、法規制等に求められている水準を超える安全対策事業の推進や先進安全技術の普及促進を図る。						
<b>事業概要(5行程程度以内。別添可)</b>	下記5事業を選定、選定事業者による事業の実施を経て、事業 以外( )の最終報告書の提出を得た。(各事業の概要は別紙) 長距離路線及び地域固有の課題に対応する安全対策推進事業(阿寒バス株式会社) 中小鉄道事業者による技術力共有化事業(東北鉄道協会) 居眠り運転警告システムによるトラック物流システム・バス人員輸送システムの安全性向上に対する有用性・対策効果の検証((株)デルタツーリング) タッチパネルインターフェイス安全支援システムの開発((株)イコース) ドライブレコーダを活用した関東圏ヒヤリマップの作成((株)東京海上日動リスクコンサルティング) の選定事業者である東北鉄道協会においては、今般の東北大震災の影響により、事業参加企業による最終報告書の確認が未了であるため、会計年度の延長措置を行っているところである。したがって、精算は終了していないが、執行額には概算精算額を計上しているところ。						
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	31	-	-
		補正予算	-	-	0	-	-
		繰越し等	-	-	3	3	-
		計	-	-	28	3	-
	執行額	-	-	24	-	-	
執行率(%)	-	-	85.4%	-	-		
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	鉄道運転事故による乗客の死亡者数 初期値:0人(18年度)	成果実績	人	0	0	0	0 (毎年度)
		達成度	%	100	100	100	-
	事業用自動車による事故に関する指標 事業用自動車による交通事故死者数 事業用自動車による人身事故件数 事業用自動車による飲酒運転件数 初期値: 513人(20年度)、 56,295人(20年度)、 287人(20年度)	成果実績	人	513 56,298 287	468 51,510 207	490 51,061 177	380 (25年度) 43,000 (25年度) 0 (25年度)
		達成度	%	0 0 0	34 36 28	17 39 38	-
		商船の海難船舶隻数 初期値:518隻(18年度)	成果実績	隻	494	475	482
達成度	%	46	83	69	-		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	選定事業数	活動実績(当初見)	件	-	-	5 (5)	-
		活動実績(当初見)	人	-	-	5 (5)	-
	選定事業の実施に係る意見聴取及び結果報告のための運輸安全確保部会の開催数	活動実績(当初見)	件	-	-	2 (2)	-
<b>単位当たりコスト</b>	約539(万円/事業)		算出根拠	(H22事業実施経費:26,940,226円)/(実施事業数:5件)			
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				

計数は、原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>企画競争に当たり、支出先の選定においては、企画競争委員会を設置し、妥当性・公平性を担保しており、選定後も、国において、事業開始前に業者より事業計画書の提出を求め、国職員と事業担当者との電話打合せを都度行い、事業内容・見積りについてチェックするとともに、事業終了後には事業報告書の提出を求めることにより、委託費用の支出先について十分に把握しているところ。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		<p>主として中小事業者における運輸の安全性の向上を図るために行う新規性のある事業を5つ採択し、平成22年度中に実施したところ。それぞれ所期の効果をあげるとともに、今後も必要に応じて関係者独自の取組により継続・発展させていく予定となっており、当初の事業目的は達成されたと認められるため、平成22年度限りで廃止する。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>東北鉄道協会の事業においては、今般の東日本大震災の影響により、事業参加企業による最終報告書の確認が未了であるため、会計年度の延長措置を行っているところである。</p>			

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)



A.(株)デルタツーリング			F.(株)ドーコン		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
検証実験の実施及び分析	情態スクリーニングシステム製作、取り付け、検証実験の分析、報告書作	6	人件費	アンケート票設計及び集計解析	1
計		6	計		1
B.東京海上日動リスクコンサルティング(株)			G.ジオサーフ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
リスク分析	事故分析及び調査、分析結果の集計等	2.5	人件費	運航システム開発	3
調査研究委員会運営	委員会開催、資料作成	1.5			
安全運転講習会	安全運転講習会実施、アンケート集計等	1			
成果物作成	報告書作成等	1			
計		6	計		3
C.阿寒バス(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備品導入費	ドライブレコーダー購入及び取り付け、アルコール検知器購入	5			
再委託費	アンケート票設計及び集計解析((株)ドーコン)	1			
計		6	計		0
D.(株)イコーズ			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
再委託費	運航システム開発(ジオサーフ(株))	3			
実証実験及び効果検証等	システムの導入作業、動作確認等	2			
間接経費	交通費、報告書作成費	1			
計		6	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)デルタツーリング	居眠り運転警告システムによるトラック物流システム・バス人員輸送システムの安全性向上に対する有用性・対策効果の検証	6	随意契約	91.0%

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	東京海上日動リスクコンサルティング(株)	ドライブレコーダを活用した関東圏ヒヤリマップの作成	6	随意契約	95.2%

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	阿寒バス(株)	長距離路線及び地域固有の課題に対応する安全対策推進事業	6	随意契約	97.8%

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)イコース	タッチパネルインターフェイス安全支援システムの開発	6	随意契約	88.8%

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)ドーコン	乗務員に対するアンケート調査の実施、分析	1	再委託	-

F.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	シオサーフ(株)	「タッチパネル安全運航支援システム」ソフト開発業務及び機器の導入	3	再委託	-

## 運輸安全パイロット事業概要

事業名（事業者）	事業内容
<p>長距離路線及び地域固有の課題に対応する安全対策推進事業 （阿寒バス株式会社）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲酒・酒気帯び運転を防止するため、IT並びにドライブレコーダー、アルコール検知器を導入して、それらを活用した点呼を実施</li> <li>・ 情報共有、安全意識向上のため、ドライブレコーダーを導入して、映像を蓄積し、乗務員研修に活用</li> <li>・ 乗務員に対する意識調査</li> </ul>
<p>中小鉄道事業者による技術力共有化事業 （東北鉄道協会） 東日本大震災の影響により、関係事業者に最終報告書の確認が未了。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「鉄道技術・安全アドバイザー制度」の創設</li> <li>・ 「鉄道安全ハイレベル研修（安全統括管理者研修）」の実施</li> <li>・ 「新人運転士養成講座」の実施</li> <li>・ 「保線技術研修」の実施</li> <li>・ 「ヒヤリハット情報活用セミナー」の実施</li> <li>・ 効果検証（安全意識アンケート調査）</li> </ul>
<p>居眠り運転警告システムによるトラック物流システム・バス人員輸送システムの安全性向上に対する有用性・対策効果の検証 （（株）デルタツーリング）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JRTTの基礎的研究制度を用いて研究・開発された居眠り運転警告システムをトラックとバスに搭載し、1次検証実験を実施。</li> <li>・ 1次検証実験の結果を踏まえ、警告システムのインターフェイス、判定項目等を改良した上で、2次検証実験を実施し、結果を分析</li> </ul>
<p>タッチパネルインターフェイス安全支援システムの開発 （（株）イコーズ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船内安全管理手順の統合整理</li> <li>・ フローチャート作成・船内掲示</li> <li>・ タッチパネル安全運航システム（プログラムソフト）の開発</li> <li>・ タッチパネルの実証実験</li> <li>・ タッチパネル導入前後の船員へのアンケート調査</li> </ul>
<p>ドライブレコーダーを活用した関東圏ヒヤリマップの作成 （（株）東京海上日動リスクコンサルティング）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 群馬県トラック協会の協力を得て、ドラレコ装備車両より事故・ヒヤリハット情報の収集、分析、現地調査（群馬 - 東京間）</li> <li>・ ヒヤリマップ作成</li> <li>・ 事業者へのヒヤリマップを活用した安全運転講習会</li> <li>・ ヒヤリマップ活用（教育）効果検証（意識調査） （・ 本業務実施に当たり、「調査研究委員会」（前橋支部3役、関東運輸局職員、東京海上日動コンサル）を設け、作業の進捗を図る）</li> </ul>